

# わがわらが町内 わがわらぐるーぐ

No. 50

「働く婦人の家」で行われている学級、サークルの中でも今一番人気の高いのが「刺子教室」です。

刺子はもともと作業衣などに多く用いられ、冷たい風や湿気を通さぬため、生地を丈夫に長持ちさせるために、それぞれ工夫を凝らして縫いあげられたのですが、それ

が美しい模様となりました。かつて、刺子が上手だということは女性にとって大きな誇りであり、そのため縫い方などは秘密とされ、親子の間であってもなかなか教えてくれなかつたそうです。最近は「主婦たちが針を持つことが少なくなった」と言われますが、刺子教室には若い方からお年寄りまで幅広い年代層の方24人が参加、なごやかに談笑しながら仲良く針を手にしています。教室が開かれるのは毎月第1水曜日と第3土曜日の午後1時から3時まで。専業主婦と勤めを持つ人が半々くらいということですが、出席率はひじょうに高いそうです。

指導してくださるのは、大茂内出身で現在秋田市に住む近藤陽絵子さん。近藤さんは、幼いころ祖母に刺子の手ほどきを受けたのがきっかけ



## 針を持って やさしい心遣い

### ~ 刺子教室 ~

で、刺子の魅力につかれたといいます。その後県内各地に伝わるいろいろな刺子の技法を訪ねて勉強し、先ごろ民芸に関しては最も権威あるとされている「日本民芸館展」でみどり入選されました。「刺子の作り出す美しい幾何模様にもひかれましたが、何よりも針を持つことで女性らしい優しい心遣いが生まれることが素敵ですね」と話します。

同教室ではこれまでサイフ、ティッシュ入れなどの小物や暖簾、前掛けなどを制作、今は座布団五枚に挑戦しています。「子供やおばあちゃんに見直されました」という会員も。暮らしの中に刺子を生かしてみませんか、と同教室では呼びかけています。参加希望者は働く婦人の家(☎49~7028)までどうぞ。

(代表 阿部コトさん、田村征子さん)



### ▲インディアカ講習会開かれる

先月27日、中央公民館で「インディアカ」の講習会が開かれました。まだ一般には馴染みの薄いスポーツですが、ルールは6人制バレーとはほぼ一緒。羽の付いたゴム板を手で打ち合いで15ポイント先取した方が勝ちというゲームで、参加者は講習のあと早速ゲームでさわやかな汗を流しました。



### ▼身障者のための「造花教室」を開催

先月26日、身障者福祉センターで身障者を対象に「造花教室」が開かれました。同教室は、在宅重度身障者の社会適応訓練と教養の向上を目的に行われたもので、参加者は互いに助け合いながら楽しく実技に取り組んでいました。ほかにも書道、版画、料理、絵画の各教室が開かれています。

## 予想される 肺ガンの増加

### 成人病対策は定期検診で

女性の場合、胃ガンに次いで多いのが宮頸ガンです。三十

歳と五十七年の市の病類別死亡状況が三人でした(左表参照)。そのう

ち約三割にあたる方が「ガン」で亡くなっています。

昭和五十七年中の死者の総数は、前年を四人に上回る四百九十一人でした(左表参照)。そのうち四十歳ごろから宮頸ガンにかかる率が高くなります。昨年当市

十四人で、そのうち三十四人が四十歳ごろから宮頸ガンにかかる率が高くなります。昨年当市

四十歳ごろから宮頸ガンにかかる率が高くなります。昨年当市

四十歳ごろから宮頸ガンにかかる率が高くなります。付近の

子宮ガン検査者は三千五百七

人で、そのうち三十人が四十歳ごろから宮頸ガンにかかる

率が高くなります。付近の

子宮ガン検査者は三千五百七

人で、そのうち三十人が四十歳ごろから宮頸ガンにかかる

率が高くなります